アクアシステム

サステナビリティ・リンク・ローン締結

滋賀県や滋賀銀行と連携

ポンプや工場扇、クリーナーなど多様な製品を手掛けるアクアシステム（滋賀県彦根市、0749・23・9123）は滋賀県が進める温室効果ガスの排出量を2050年までに実質ゼロにする取り組みに賛同し、滋賀銀行と『サステナビリティ・リンク・ローン〝しがCO₂ネットゼロ〟プラン』の契約を締結した。工場のCO₂排出量の削減目標・計画を策定し、今後、太陽光発電や工場棟のLED化、製造現場の生産性向上、灯油ボイラーなど工場内設備の省エネ化を進める。

彦根市内のポンプ業界では初の締結企業となる。同社は工場のCO₂排出量を31年度までに21年度比55・6％削減するという野心的な目標を掲げ、太陽光発電や生産性向上、各設備の省エネなど脱炭素化の取り組みを行う。木村匡伸社長は「将来的にEU向けの製品を展開する際はこうした脱炭素への取り組みが重要。先行して取り組むことで自社の利益だけでなく、太陽光発電でEV車や蓄電池を災害時の給電スポットに活用できるなど社会貢献につながる」と話し、挑戦することで新しい知識の習得や未来への可能性が広がると語る。

『サステナビリティ・リンク・ローン〝しがCO₂ネットゼロ〟プラン』は滋賀県が推進する〝しがCO₂ネットゼロ〟の取り組みに対し、滋賀銀行が滋賀県との包括連携協定に基づき、脱炭素やサステナビリティ経営に取り組む企業へ融資を通じた脱炭素支援を行う。

企業側はCO₂削減目標や計画を策定し、取り組み状況の報告義務（年1回）が発生するが、削減目標の達成状況に応じ融資の金利が変動する仕組みだ（しがぎん経済文化センターの第三者意見を取得済み）。融資金額は5000万円以上としている。企業の削減目標について滋賀銀行・彦根支店の水口栄寿支店長は「仮に従来より生産量が増えていてもCO₂排出量（総量）の削減が必要で、野心的な目標数値である」と強調した。同社は来年以降、須越工場に太陽光パネルを設置。年間5万1464kWhを発電予定で、自社工場での使用や売電も検討する。